

ものづくり研究発表会

四国職業能力開発大学校及びユープラザうたづにおいて、四国ブロックポリテックビジョン「能開大ものづくり研究発表会」が2月21日開催され、当校の学生が参加しました。同発表会は日頃の学びの成果を披露するもので、学業の集大成となる開発課題(応用課程)と総合制作実習課題(専門課程)を展示・発表します。当校からは2年生が総合制作実習課題4テーマを出展し、うち2つは発表も行いました。発表と展示に対しては審査が行われ、当校の学生は最優秀賞と優秀賞を受賞することができました。また1年生は全員が見学に行き、高度な技能と技術を駆使した制作物や、先輩たちの堂々としたプレゼンに刺激を受けていました。

- 【受賞テーマ】
- 発表の部 最優秀賞「AIによる家電制御システムの構築」(電子情報技術科)
 - 展示の部 最優秀賞「危険予知トレーニング教材の制作」(電子情報技術科)
 - 展示の部 優秀賞「AIによる家電制御システムの構築」(電子情報技術科)



研究発表の部。生産技術科は「水平多関節型ロボットの設計・製作」、電子情報技術科は「AIによる家電制御システムの構築」について発表しました。



会場の「ユープラザうたづ」は、コンサートなども行われるとても大きな施設です。何百人もの来場者を前に、緊張しながらも堂々と発表していました。



展示の部。研究発表の部に加え、生産技術科は「コインリング製造機的设计・製作」、電子情報技術科は「危険予知トレーニング教材の制作」を併せて出展しました。



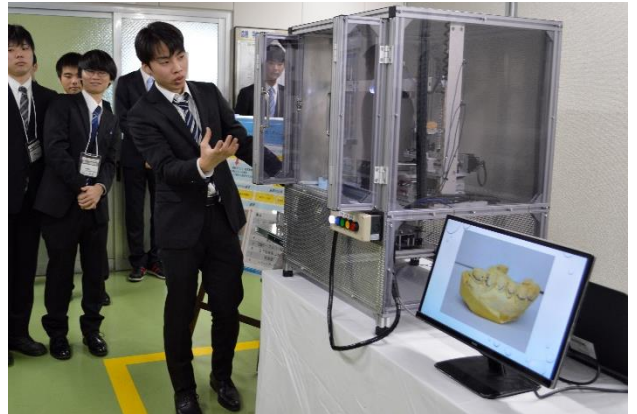
1年生は見学に行きます。先輩たちはどんな学習をしているのかな？



研究発表を聞いた後、四国校応用課程の卒業制作展示を見学します。



「超小型モビリティの開発」。



「局部義歯を対象とした歯科技工省力化装置の開発」。



四国校には当校の卒業生がたくさんいます。先輩たちが堂々とプレゼンする姿に、未来の自分を重ね合わせます。



「下肢機能が低下した高齢者対象のリハビリ機器の開発」。



高度な技能・技術と制作への熱意を感じ、大きな刺激となった1日でした。